

「9歳の壁」を乗り越えるには・・・



校長 佐藤 智子

先日、4年生で『ごんぎつね』の授業をした時のことです。ごん(きつね)を撃った兵十(ひょうじゅう)が、ゴンの償いに気づく、という結末の最後の一文「青いけむりが、まだつづつから細く出ていました。」は必要かどうかを問いました。その前の文「兵十は、火なわじゅうをばたりと取り落としました。」で「おしまい」ではないのか、と問うたのです。青いけむりによって「兵十の悲しみが伝わる」「ごんがだんだん息絶えていくのが伝わる」との根拠で、必要だと答えた児童が多い中、「もう元(銃で撃つ前)には戻れない、取り返しのつかないことをしてしまったという兵十の後悔が伝わるから必要だ」と述べた児童がいました。物語の余韻を味わい、こんな**抽象的思考**ができるのだと驚きました。

4年生と言えば9歳の学年。**「9歳の壁」**という言葉をご存じでしょうか。この時期、**自分を客観視する力や抽象的な思考力が育つので、学習や友人関係など様々な場面で自信を失い、劣等感を持つなど「壁」にぶつかる**姿が見られます。慶應義塾大学 今井むつみ教授は、「9歳の壁」はどの教科にもあるけれど(4、5年生で教科書の言葉も抽象的なものが増えます)、言葉へのつまづきは、生活の中でよく使う言葉ではなく、文章の中で出会う言葉だと述べており、幼児期の読書量との関係に言及しています。「9歳の壁」を超える手段としてはいろいろ言われていますが、その中に「読書」があります。読書は、登場人物の相関関係をとらえ、描かれている世界を客観視し、様々な価値観を得る、つまり**「抽象的な思考力」**を鍛えてくれるからです。ところで、今井教授は次のようにも語っています。



私の大学院にいる中国の学生さんに、日本語の、それも中国の人が意味や使い方を誤解しやすい言葉をたくさん集めて、どれだけ理解できているか、使えているかをテストしました。それと同時に、母語である中国語でかなり難しい言葉の力を測る問題もやってもらいました。その関係も見たら、母語である中国語において、言葉に感覚鋭く、的確に語を使い分けることができる人は、日本語でも、特に中国の人が間違えやすい言葉がちゃんと使えている。だから、**国語は英語のためにも大事なんです。というか、国語力がないと、英語は学習できないと思います。**
(光村図書『国語教育相談室(小学校)』98号より)



小学生の子ども達は、母語である日本語の獲得もまだ不十分な状態です。しかしその上に、3年生からは外国語活動が入ってきており、5、6年生では「教科」として外国語を学びます(3,4年:週1時間、5,6年:週2時間)。これを読むと、外国語習得のためにも、国語力——言語感覚を磨き、的確に語を使い分けことが大切であると痛感します。

ジェームズ先生より

僕は日本に来てもうすぐ6年だけど、まだ深い気持ちを日本語で伝えられていない。僕は日本語を学ぶとき、単語だけで覚え、文章で覚えるようにしている。単語だけでは頭に入らないから。どんな場面で使う言葉なのか、という「文脈」や、実際に使うときの「リズム」があると覚えられる。授業では、できるだけ実際の生活で使えるようなコミュニケーションを取り入れて、楽しく学べるように工夫している。子ども達には、「今私は英語を話す人」というキャラクターに自分でなりきってほしい。そしてできるだけ日本語を使わずに頑張り、間違っても心配しないでほしい。間違えることを恐れず、学んでほしい。

さて、外国語を教える本校ALTのジェームズ先生に、先日お話を伺いました。児童が英語を学ぶように、ジェームズ先生も日本語を学んでいます。英語であれ日本語であれ、言葉を習得するには、実際に使われる時のひとまとまりの意味のある文脈(文章)で覚えることがいかに大切かが伝わってきました。だからこそジェームズ先生は、実生活で生かせるようなコミュニケーションを授業に取り入れています。英語で話す自分というキャラクターになりきり、「失敗」「間違い」を恐れずどんどん英語を使うことは、実社会での体験と重なります。実は、この「体験活動(特に社会的体験活動)」は、「9歳の壁」を乗り越えるための、もう一つの重要なカギでもあるのです。「読書」と「体験」、この二つを武器にして、「9歳の壁」を乗り越え、自分に自信を持って歩むことができる児童を育てたいと願っております。

School Events

12月

- 1 (日) 流山市小中学校長距離記録会(柏の葉競技場)
- 2 (月) 教育相談日 「絵本の会」読み聞かせ
- 3 (火) 持久走記録会
1校時:3,4年 2校時:1,2年 3校時:5,6年
PTAベルマーク集計日
- 4 (水) 委員会活動
- 5 (木) 諸費引き落とし日 にここご算数教室
- 6 (金) 進度調整日(全学年5時間授業)
- 9 (月) ゴールボール・アジアパシフィック選手権大会観戦
4~6年(千葉ポートアリーナ)
- 10 (火) 進度調整日 安全点検日
- 11 (水) 進度調整日
- 12 (木) 3年花いっぱい活動
ことばの教室クリスマス会
- 17 (火) 特別支援学級合同交流会(会場:東小学校)
- 19 (木) 2学期給食最終日
- 20 (金) 特別日課(下校11:50)
- 23 (月) 終業式 特別日課(下校11:20)
- 24 (火) ~1月6日(月) 冬季休業
- 28 (土) ~1月3日(金) 学校閉庁日

1月

- 6日(月) 諸費引き落とし日
- 7日(火) 始業式 特別日課(下校11:50)
- 8日(水) 委員会活動 校内席書会
- 9日(木) 3学期給食開始 にここご算数教室
- 10日(金) 安全点検日
- 15日(水) 5年邦楽鑑賞教室
- 16日(水) 校内書き初め展 にここご算数教室
PTA役員会9:00
PTA運営委員会10:00
- 17日(木) 校内書き初め展
- 20日(月) 教育相談日
- 22日(水) クラブ活動(3年生見学日)
- 23日(木) にここご算数教室
- 25日(土) 学習発表会・体育館落成式(月曜日課)
- 27日(月) 振替休業日
- 28日(火) 5時間日課
- 30日(木) にここご算数教室
- 31日(金) 4年校外学習/メグミルク/午前
3年校外学習/流山市立博物館/午後

School Days

あいさつマイスター 授賞式	さわやか持久走 練習開始!	家庭教育講座 内田先生をお迎えして	戦争体験を聴き 平和を考える授業

Attention

- 女子チーム大健闘の3位!! 流山市ミニバスケットボール大会
・2日間にわたって行われた市内ミニバス大会、男女とも大健闘しました。特に女子は予選リーグ3勝で決勝トーナメントに勝ち上がり、優勝した東深井小学校に僅差で敗れましたが、3位の成績を収めることができました。これまでの応援本当にありがとうございました。
- 練習の成果を! 持久走記録会 **12月3日(火)**
・11月1日から始まった持久走練習の総まとめの持久走記録会にぜひ足をお運び下さい! 保護者の皆様の応援場所は、わんぱく山前のバスケットボールコート付近と、八木っ子農園前の階段付近を考えています。子どもたちへの応援よろしくお願いたします。
- ゴールボール アジアパシフィック選手権大会観戦 **12月9日(月)**
・2020年の東京オリンピック・パラリンピックが千葉県でも開催されることを受け、4~6年の児童が千葉ポートアリーナで行われるゴールボールアジアパシフィック選手権大会の観戦に行きます! これをきっかけに、障がいのあるトップアスリートが出場できるスポーツの祭典であるパラリンピックにもしっかりと目を向けていきたいと思ひます。
- 学習発表会・体育館落成式 **令和2年1月25日(土)**
・体育館大規模改修工事のため延期となっていた学習発表会を1月25日に行います。また、体育館の完成を祝ってさわやかではありますが、体育館落成式を行う予定です。学習発表会前9時10分~9時50分に実施します。学習発表会と合わせて足をお運びいただくと幸いです。
- 進度調整日
・授業の法定時数をこなし、進度に遅れがない場合には、ゆとり創出のために5時限下校措置をとっています。高学年が低学年を見守りながら、全学年が一斉下校します。